

* 以下は 2008 年 6 月 28 日に米国バージニア州で発表されたリリースの日本語版です。

プレスリリース

2008 年 7 月 3 日

マース、米国農務省農業研究局と IBM と共同でカカオのゲノム解析研究に着手

—650 万を超える世界のカカオ生産者を支援し、持続可能なチョコレート供給を目指す—

マース ジャパン リミテッド(本社:東京都目黒区、社長:デビッド・ティーズデイル、以下、マース ジャパン)の親会社であるマース インコーポレイテッド(本社:米国バージニア州、代表者:ポール・マイケル、以下、マース)は、米国農務省農業研究局 (USDA-ARS) および IBM と協力し、それぞれの科学的情報と技術を応用することで、カカオの遺伝子配列解析と分析を行なう調査プロジェクトを発足したと発表しました。本プロジェクトは、カカオ苗木の品種改良やカカオの品質をさらに向上することを目指しており、チョコレートの主要成分であるカカオの遺伝子配列解析は、科学的見地からも重要な第一歩になると考えます。

本プロジェクトの調査結果をもとに、カカオ栽培農家は害虫や病害に対する抵抗力が強く、水や養分の使用効率などにも優れたカカオ栽培を行うことができ、高い収穫を得ることができるようになります。こうした優れた品種によるカカオの収穫は、世界のカカオの 70%を生産するアフリカ諸国を社会・経済・環境面から保護する重要な役目を果たすと考えられます。マースではこの調査結果を、人道的および小規模商業保護の観点から農業革新を推進する非営利の研究団体 PIPRA(The Public Intellectual Property Resource for Agriculture、本拠地:米国)を通じて無償で一般公開する予定です。

マースと USDA-ARS は、これまでも 10 年にわたり、旧来のカカオ栽培法を改善し、害虫や病害の脅威を削減するための研究プロジェクトで協力してきました。また IBM とマースは、これまでいくつかのプロジェクトで協力してきた実績がありますが、これら三者が専門知識を結集し、農作物や生産者、そして消費者の長期的な利益のために、共に集結するプロジェクトは今回が初めてとなります。マースはチョコレート製品を製造・販売する世界のトップ企業として、資金面の支援とプロジェクト進行の調整を行い、積極的にこのプロジェクトを推進していきます。

メリーランド州ベルツヴィルにある USDA-ARS の農作物生産・保護部のジュディー・セント・ジョン管理次長は、「農作物の遺伝子配列解析は、農作物への理解を深め、収穫高を向上する上で必要不可欠な過程です」と述べています。

カカオの遺伝子配列解析が進むことで、科学者や生産者は今まで不明確だった点が解明され、干ばつや害虫被害の耐性に優れ、高い収穫を得られるカカオの遺伝的形質を特定できると期待しています。そして、従来の栽培技術を活かしつつ、望ましい特性を備えた新種の栽培が可能になります。

マースのプラントサイエンス担当グローバル・ディレクター、ハワード・ヤナ・シャピロ博士は次のようにコメントしています。「カカオの科学研究におけるリーディングカンパニーとして、マースはこの調査研究が持つ可能性に大きく期待しています。カカオ農家が長年行ってきた伝統的な栽培方法の維持を支援すると同時に、より高品質なカカオの生産を促進し、農家の収入増にもつながります」。

マース、USDA-ARS、IBM の研究グループは、このカカオのゲノムの解析、組立て、注釈および調査研究

を全て完了するのに約 5 年を要すると見えています。USDA-ARS とマースの科学者は、マイアミにある USDA-ARS の研究施設で、様々な側面からプロジェクトに取り組み、ニューヨーク州のヨークタウンハイツにある IBM の T.J. ワトソン・リサーチ・センターの研究者は、コンピュータを活用した生命工学技術を駆使し、カカオの遺伝子地図の作成や組立を進めることでココア遺伝子研究に協力します。

IBM フェローで、IBM リサーチの技術戦略・グローバル・オペレーション担当のバイスプレジデントを務めるマーク・ディーン博士は、「この共同研究は、IBM のコンピュータを利用した生命工学と、スーパーコンピュータの専門性が、経済的に重要な意味のある農作物の改善に役立てる貴重な機会です。IBM リサーチは、世界のカカオの70%の生産地であるアフリカ地域の発展と開発を促進し、支援することに高い関心を寄せています。アフリカや他の新興成長市場にある農業地域への支援に参加することを楽しみにしています」と述べています。

PIPRA エグゼクティブ・ディレクターであるアラン・ベネット氏は、次のように述べています。「カカオの遺伝子配列情報を特許により独占するのではなく、無償でリアルタイムに提供するというこのプロジェクトに、マースとともに取り組めることをとてもうれしく思います。遺伝子配列が解明されれば、世界の 650 万を超える小規模なカカオ農家が、社会、経済、環境面で恩恵をこうむるものと期待します」。

* YouTubeにて、本件に関する映像をご紹介します。(英語のみ)

<http://www.youtube.com/watch?v=ERu5TaqIvHs>

お問い合わせ: マース ジャパン リミテッド 広報室 小川 (電話 03-5434-3334)

マース インコーポレイテッドについて

マースは、世界でも有数の菓子、食品・飲料、ペットケア&ペットフード事業を展開している非上場企業。創立は1911年、本社は米国バージニア州マクレーン。世界65カ国以上で事業を展開し、その製品は100カ国以上で販売されている。総従業員数は48,000名以上、2007年度の世界における年間総売上高は220億米ドル。M&M'S®、スニッカーズ®、ミルクキーウェイ®、マース®、アンクルベンズ®ライスなどのスナック菓子や食品、ペディグリー®やウイスクラス®を始めとするペットケア&フード製品など、多くの世界的ブランドを持つ。またマースはカカオの調査研究におけるグローバルリーダーとして、その研究成果は持続的なカカオ栽培の発展に貢献してきた。マースのホームページは、www.mars.com、マースのココアサステナビリティに関する活動についても専用サイト(英語のみ)は、www.cocoasustainability.mars.com

マース ジャパン リミテッドについて

マース ジャパン リミテッドは、米マース インコーポレイテッドの日本法人として1976年に設立、ペットフード事業とスナック菓子事業を展開している。主軸事業のペットフード製品ではペディグリー®、カルカン®ウイスクラス®、シーザー®、シーバ®、パーフェクトフィット®、グリニーズ™等のトップブランドを持ち、国内市場シェアNo.1。国内従業員数は約250名。マース ジャパンのホームページは、www.marsjapan.co.jp

PIPRAについて

PIPRAは、人道的、小規模商業の視点から、途上国での農業技術の躍進を推進する非営利団体の研究機関。PIPRAのサイトは、<http://www.pipra.org/>

IBMについて

詳細は、webサイト (<http://www.ibm.com/jp/>) をご参照下さい。